

7月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年7月3日(月)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 宮下温子 委員 小松小百合

出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(臼井教育次長)

令和5年7月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしく願いいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 皆さんおはようございます。筑北村教育委員会との懇談会を実施いたしました。初めて筑北村の教育委員さんともお会いすることができました。いろいろな話をさせていただくことができ、本当に良い機会になりました。今後施設見学等も含め、定期的な情報交換をしながら、お互いの良いところを吸収して、さらに高めていきたいと思っております。学校間の連携も深めて、充実していくような状況に進めていきたいと思っております。

今日は6月の定例議会で出ました一般質問について確認だけさせていただきます。特に大きな議題はありません。

今後の予定を確認できればと思っています。以上です。

三 報告

1) 教育長報告

臼井次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 6月の議会が終了いたしました。教育委員会にかかわる一般質問は、かなり出されました。新型コロナウイルス感染症への対応について、質問が出されました。基本的には、ガイドラインに沿って、それぞれのところに対応していただいております。マスクの着用については、個人の判断になりましたけれども、小中学校においては、マスクを着けている児童生徒が見受けられます。また、先生方はみんなマスク着用という話でありました。

部活動の地域移行に関して質問が出されました。国において進めていますが、令和7年までには難しい状況です。国では令和8年までと延長してきました。難しい問題で、特に指導者の確保が課題です。指導者がいても、仕事の時間帯と通常行っている子供たちの活動時間帯が合わないという問題が出されています。今後の状況を見ながら、こちらとしても、指導者を確保しなければなりません。そこで、少し広域的に考えていく必要もあるかと思います。前回の筑北村との打ち合わせの中でも、一番大きな課題として出されました。山雅とのホームタウン契約について、7月14日に調印式となっております。山雅はサッカーだけではなく、子供たちにいろいろなスポーツにかかわれるよう、派遣をしてもらったり、共同したりできないかお願いをしていく予定です。

それから施設一体型の小中一貫教育についてです。施設が老朽化しているので、一体化して一貫教育をしたらどうかという質問がありました。一長一短があって、前にも話をしている通り、施設が一体化になると、職員数が減ってしまうマイナス面が出ます。逆に、施設が一体になると職員自体が、やりやすいということが考えられます。今後皆さんにもお願いをしていますが、いろいろなところを見学に行かせていただいたり、我々も見識を高めたり備えていこうと思います。

少人数学級の現状と今後の対応ということでもあります。本村の小中学校は、単級クラスという状況であります。35人の定員を超えていません。平均15名前後の数になります。一学級の規模としては、15人程度が一番やりやすい人数であります。非常に良い学びの状況が整っているかと思えます。ICTを積極的に取り入れながら、今後進めていきます。いずれにしても研修等をやっていかなければ対応できない状況もありますので、今後の課題かと考えています。

コミュニティースクールの現状と課題ということでも出されました。小中合同のコミュニティースクール「おみスクールパートナーズ」が新たな名称で立ち上がりました。ボランティアであったり、かかわっていただける方を募集したりしなければいけない状況であります。ようやくスタートしたばかりで、今後の活動に力を入れて行かなければなりません。しかし、そこから先のところが動いておりません。頑張って進めたいと思います。

7月の行事及び会合等であります。明日、塩尻市と東筑摩郡の教委の連絡協議会があります。6日は、町村教育長会研修総会ということで、佐久穂町へ行ってまいります。14日は、松本山雅ホームタウン調印式ということで、子供たちにも参加をしていただきます。10時からの予定になりますので、お世話になります。24日は、市町村教委と県教委の懇談会がZoomで実施します。教育委員会事務局での対応となります。7月末に、おみっこ元気くらぶのキャンプが予定されています。心配なのは、コロナ感染が

かなり広まってきているという情報があります。感染予防に十分配慮しながら進めていきたいと思えます。

聖南中学校あるいは教育施設等も含めて、見学を考えております。コロナ感染の状況等を見ながら事務局で計画させていただきます。施設見学は子供たちが学校にいる様子を見たと思えますので、夏休み前ぐらいを考えています。無理をせず2学期も含めて計画をしていきますのでよろしくお願ひいたします。

白井次長: ただいまの教育長報告についてご質問等ありますか。

教育長: 保育園の運営にかかわって、第三者評価について議会で出されました。やるやらないについては、まだ決定していないので、今後必要に応じて考えていくと返事をしております

白井次長: この6月議会から一般質問については、YouTube 配信しております。麻績村ホームページから議会のバナーがあります。そこから入っていただくと、一般質問の様子が配信されております。

白井次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

高野CO: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: 今後の課題のところ、各関係部署の相互理解に向けた支援会議とありますが、これはできているということですか。

高野CO: その都度連携を取りながらやっています。今後については定期的に会議を進めていきたいと思っております。

白井校長: 今の質問にかかわると思えますが、それぞれ保健師とかいろいろなところと繋いで対応ができているというところらえでいいですね。

高野CO: 連携を取りながら進めています。

白井次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

教育長: これからプールシーズンになります。安全管理は当然ですが、加えて子供の虐待の痕がないかどうか保小中ともに気を付けてみてみただけると助かります。

白井次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

白井次長: 続きまして中学校長報告をお願いします。

白井校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

白井次長: 以上で報告を終わりにします。協議事項に移ります。

四 協議事項

1) 筑北村教育委員との懇談会実施について

教育長: 筑北教委との懇談会を実施しました。皆さんから反省や今後に向けての提案など感想も含めてお話してください。

小松委員: いろいろな情報をやり取りできてよかったですと思います。

宮下委員: それぞれに課題があるんだなと感ずることができました。実際に施設を見ることで今後につながるように思います。

高野委員: はじめはどんな感じになるのかひやひやしていききました。しかし、かなり好印象で迎えていただきました。これは良い機会だったかと思いました。向こうから「またこういった機会を持ちましょう」と言われて、待ち望んでいたんだと感ずることができました。地道な活動を続けることと、地域の人々に活動の取り組みを伝えていくことで両村が協力して進められるのではと思います。

小山職務代理: 今回良い機会になったと思います。教育委員として今後もバックアップしていきます。

教育長: ありがとうございます。筑北村教育委員さんと我々が交流しながら情報交換していくことについて、定期的に続けていくことで合意いたしました。

次回は、筑北村さんの学校や、給食施設などを見学させていただきとお願いしてございます。次長間で日程調整して進めていきます。今後は筑北村さんが、こちらの施設等見学をしたいということもあるかと思われま。その折は、学校に相談させていただきます。

白井次長: 筑北村から言われているのは、麻績の社会体育施設を見たいといわれま。地域の中の施設をどのように活用していけばよいのか考えるきっかけづくりとして、学校以外の施設も見られたらいいと思います。

教育長: ありがとうございます。いずれにしても教育委員会どうしが交流した

り、情報交換したりすることによって、色々なことが見えてきます。次回の施設見学については、なるべく早い段階で予定を作りたいと思います。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 各委員さんからございますか。

小松委員: ある方から、小学校の通学かばんを村から補助してくれないかとの要望を受けました。市町村によっては、補助をしているところもあるようです。

小山職務代理: 6,000円の15人程度なら金額的にたかが知れていますよね。

高野委員: 中には家庭の負担が大きいところもあるので、そのような補助があると助かる家庭もあるかと思われます。

教育長: 他いかがでしょうか。

小松委員: 第二グラウンドは良い場所です。あのままではもったいないので活用を今後考えていけたらよいと思います。

白井校長: みんな来て遊んでもらえれば良いと思います。ただ遊びに来る人はいないような気がします。来るためのきっかけがあると良いと思います。

教育長: 他いかがでしょうか。

高野委員: 部活指導者が集めにくいという話ですよね。中学生の時期は、体力作りがメインだと思います。基本的な体力づくりを目的として運動経験者とかを集めるとよいと思います。運動ができるできないにかかわらず、呼びかけるような方向を考えられるといいです。

教育長: いろいろなパターンがあって良いと思います。慌てずに、令和8年まであります。部活動を中学校から離して、地域でいろいろなスポーツ活動ができればということです。先ほどの高野委員の大変良いアイデアだと思います。考えさせていただきます。

小山職務代理: 小中学校の日程表を拝見させていただきました。夏休みが30日程度あって、小学校はその期間プールがないとのこと。生活習慣も含めて事前指導をお願いしたいと思います。夏休み明けに不登校傾向になることが全国的にあるようですのでお願いします。

教育長: ありがとうございました。

2) 事務局から

・市町村教委と県教委との懇談会の開催について

白井次長: 出席者については、教育長と職務代理でお願いしております。中信地区は7月24日の13時30分から15時30分Zoomによる開催になります。ご都合がよろしければ、ほかの委員さんも参加していただければと思います。

私立学校に通う家庭につきましては、年額 2 万円の補助を村からしております。この補助につきましては、東筑摩郡下において一緒ということになっております。以前は私学の担当の先生が教育委員会にお願いに来ていました。コロナ禍は資料送付のみでしたが、今年は第一高校の先生が 8 月 4 日に来られます。村長と教育長にお願いすることになっています。PTA の会長さんも来られるということです。

山雅の調印式について、保小中に大変協力していただきす。調印式には、山雅の社長と副社長が来て、社長と村長が調印と握手をすることになっています。調印式終了後に、保小中の子供たちで応援のエールを賑やかにやりたいと思います。保育園では山雅の旗を作っていただけることになっています。16 日にはアルウィンで福島ユナイテッドとの試合があります。ハーフタイムに新たにホームタウンの紹介ということで村長が、ピッチで挨拶することになっております。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 9 月 1 日（金） 午前 9：30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして 7 月の定例教育委員会を閉じます。